

第1回理事会 議決

# 平成23年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作（販売）業者情報システム事業	2
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	2
(5) 認定補聴器専門店情報提供システム事業	3
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	3
(1) 福祉用具プランナー養成事業	3
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	4
(3) リフトリーダー養成事業	4
(4) 認定補聴器技能者の養成	5
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	6
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	7
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	9
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	9
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	10
8. その他の事業	10
(1) 全国介護実習・普及センター等関係機関連絡会議の開催	10
(2) 啓発誌の発行	11
(3) 広報活動	11
(4) 福祉用具の規格化に関する事業	11
(5) 海外調査の企画支援	12
(6) 関係団体の行事等に対する後援、協賛	12
II. 理事会・評議員会の開催状況	15
III. 理事の異動	17
IV. 賛助会員の現況	18
V. 委員会等の開催状況	19

## I. 事業実施結果の概要

### 1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

#### （1）福祉用具情報システム（T A I S）事業

福祉用具の効果的な利用を促進するための基盤整備として、全国に散在している福祉用具製造事業者等及び福祉用具情報を一元的にデータベース化し、インターネットを通じて広く情報発信を行っている。

《 平成24年3月末現在 情報総数 》

企業情報	584社
用具情報	7,203点

#### ■福祉用具情報の分類別総数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	548	7.6
06	義肢・装具	17	0.2
09	パーソナルケア関連用具	1,229	17.1
12	移動機器	2,957	41.1
15	家事用具	29	0.4
18	家具・建具・建築設備	2,126	29.5
21	コミュニケーション関連用具	221	3.1
24	操作用具	18	0.2
27	環境改善機器・操作用具	29	0.4
30	レクリエーション用具	11	0.2
89	その他の用具	18	0.2
合計		7,203	100.0

#### ■登録件数の推移

事業年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
企業情報件数	584	533	522	553	584
用具情報件数	6,157	5,538	5,893	6,541	7,203

## (2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

当協会のホームページを活用して、障害をお持ちの方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報356件（ご意見箱への投稿156件、掲示板への書き込み200件）を収集し、それをメーカーや研究者等へ提供することにより、障害者や高齢者等から真に必要とされる、使い勝手の良い用具の研究開発を推進する事業を行った。

## (3) 補装具製作（販売）業者情報システム事業

平成18年10月の障害者自立支援法の全面施行に伴い、補装具の制度が、障害者と補装具製作（販売）業者による契約の制度に変わったことから、厚生労働省障害保健福祉部からの要請により、義肢製作所及び補聴器販売店の情報を、障害者や市町村担当者が、補装具製作（販売）業者の選定を適切にできるようにするため、当協会のホームページから情報発信を行っている。

### 《 平成24年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	279製作所
補聴器販売店	413販売店

## (4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者自立支援法に基づく、義肢装具等の完成用部品について、平成20年4月より利用者の身体状況や使用環境に適合した適切な完成用部品が選定されるよう、当該部品の対象者やその効果、また適応範囲や調整方法等についての詳細な情報を当協会のホームページから情報発信している。

### 《 平成24年3月末現在 情報総数 》

企業情報	30社
部品情報	1,871点
(内 訳)	
殻構造義肢	415点
骨格構造義肢	805点
装具	442点
座位保持装置	209点

## (5) 認定補聴器専門店情報提供システム事業

補聴器の安全で効果的な使用を促進し、難聴者の福祉の増進に資することを目的として、所定の業務運営基準に適合し、適正な補聴器の販売及び使用指導を行っている認定される補聴器販売店を認定補聴器専門店と認定し、その販売店に関する情報をホームページから情報提供している。

## 2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

### (1) 福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の効果的な使用と普及促進を図るため、福祉用具の選定、使用方法、取り扱い方等に関する専門的知識及び技能を有する者(福祉用具プランナー)を育成することを目的として研修会を実施した。(修了者累計 11,375名)

#### ① テクノエイド協会主催

- ・eラーニング研修期間 平成23年12月10日(土)～平成24年2月9日(木)
- ・集合研修期間 平成24年2月11日(土)～2月17日(金)
- ・開催地 東京
- ・修了者 49名

#### ② 他団体主催（テクノエイド協会共催等）

##### 1) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、富山、静岡、京都、愛媛、大分
- ・修了者 160名

##### 2) その他 関係団体

- ・開催地 東京、滋賀、大阪、熊本
- ・修了者 188名

## (2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

平成21年度から介護保険制度の貸与品目の対象となった可搬型階段昇降機においては、当該機器を取り扱う貸与事業者はメーカー等による操作講習を受講すること、および貸与の際には利用者の家族等に操作指導を行うことが義務付けられた。

それに伴い「可搬型階段昇降機安全推進連絡会」（国内メーカー等）と連携を図り、標準化された操作方法を適切かつ安全に指導できる福祉用具専門相談員を養成することを目的とした可搬型階段昇降機安全指導員講習制度を構築し、資格条件を満たしたものに対して可搬型階段昇降機安全指導員資格証を付与した。また、この講習制度を構成する機種別講習と基礎講習のうち、基礎講習を実施した。（修了者累計1,930名）

### ① 基礎講習修了者

#### 1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京、大阪
- ・修了者 155名

### ② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証

- ・交付者数 189名

## (3) リフトリーダー養成事業

介護労働者設備等導入奨励金（厚生労働省職業安定局）に対応し、施設等介護従事者の腰痛予防のため、リフト等福祉用具導入に際して、施設内で計画・相談・研修・指導の中核となる人材を養成する「リフトリーダー養成研修」の実施を支援した。（修了者累計765名）

### リフトリーダー養成研修修了者

#### 1) 介護実習・普及センター主催（テクノエイド協会共催等）

- ・開催地 静岡、富山、愛知、和歌山、熊本
- ・修了者 122名

#### 2) 国際医療福祉大学大学院主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 14名

#### (4) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な補聴器に関する知識及び技能の習得を目的とした認定補聴器技能者の養成講習を行うとともに、養成講習修了者を対象とする認定補聴器技能者認定試験を実施した。

##### 1) 各講習会を次のとおり実施した。

###### ①第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	H23.7.1(金) ～10.31(月)	366名	338名

###### ②第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のスクーリング	H24.1.16(月) ～1.17(火)	東 京	359名	350名

###### ③第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	H23.10.3(月) ～10.7(金)	東 京	再受験者3名 375名	369名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	H23.12.5(月) ～12.9(金)	東 京	再受験者6名 268名	269名
合 計			652名	638名

###### ④第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	H24.2.1(水) ～2.2(木)	東 京	240名	240名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	H24.2.28(火) ～2.29(水)	東 京	197名	196名
合 計			437名	436名

### ⑤認定補聴器技能者に対する講習

区 分	課 目	開 催 日	場 所	受講者数
第1回中央	音声・言語、障害者福祉・リハ、臨床医学、フィッティング	H23.7.1(金)	有 明	280名
九州ブロック	フィッティング、接遇、音声・言語、法規	H23.7.28(木)	博 多	190名
関東ブロック	接遇	H23.8.4(木)	代々木	70名
北海道ブロック	フィッティング、接遇、機能・音響、法規	H23.8.24(水)	札 幌	51名
中部ブロック	臨床医学、障害者福祉・リハ、フィッティング、音声・言語	H23.9.21(水)	名古屋	134名
第2回中央	法規、機能・音響、臨床医学、接遇	H23.10.19(水)	有 明	184名
合 計				909名

2) 認定補聴器技能者試験を次のとおり実施した。

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第19回認定補聴器 技能者試験	H23.11.11(金)	東 京	244	243	211	86.8

認定補聴器技能者試験合格者累計:2, 278名(平成5年第1回～平成23年度第19回)

### 3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等々を評価し、認証された用具を情報提供する事業を行った。

実際の評価は厚生労働省が委託した6機関において行われ、在宅における福祉用具の適合経験を豊富に有する専門家（OT・PT、エンジニア、福祉用具専門相談員）に、障害当事者を加えた5名のチームを編成し、当協会が種目毎に定めた評価項目に沿って合議制により評価を行った。

平成23年度については、特殊寝台及び車いす、スロープの計18製品を認証したところであり、平成24年度は、新たにJIS（日本工業規格）が制定された「ポータブルトイレ」や「入浴用いす」も評価を開始する予定である。



## 4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等を受け、次の事業を行った。

### ○福祉機器開発普及等事業

当協会に福祉用具有識者会議を設置し、福祉用具ニーズ情報収集・提供システムに寄せられた「ご意見」や「アイデア」等の取り纏めを行い、厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業評価検討会へ報告するとともに、より多くの障害者や開発者に本システムが活用されるよう、ニーズ情報の収集及び提供、表示等のあり方について検討するとともに、システム利用者のご意見を踏まえて本システムの改良を行った。

### ○福祉用具の安全な利用を推進するための調査研究事業

製品に起因しない福祉用具の利用に係る「事故」や「ヒヤリ・ハット情報」を全国の関係者から収集し、当協会に設置した検討委員会において「使用する人」・「用具の使われ方」・「使われる環境」等に着眼した要因分析を行い、事例情報として加工したうえで福祉用具の利用者をはじめ、訪問介護員や介護施設職員等が閲覧できるヒヤリ・ハット情報提供システムを構築した。

### ○福祉用具・ロボット実用化支援事業

高齢者介護の現場において、真に必要とされる福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器等」）の開発に資するため、試作段階の介護機器等に対してモニター調査等を行い、もって開発する上での課題を顕在化させ、良質な介護機器等を実用化する上で有効なスキームについて研究した。

#### ① 試作機等に対するモニター調査等の実施

- |                           |        |      |
|---------------------------|--------|------|
| 1) 専門家及び介護関係者等による試作機の事前検証 | 10メーカー | 14機器 |
| 2) 日本生活支援工学会による倫理審査を受審    | 3メーカー  | 3機器  |
| 3) 介護施設等におけるモニター調査の実施     | 3メーカー  | 3機器  |

〔 ・スパイラルフレーム型ふるえ（本態性振戦）軽減サポーター（菊池製作所）  
・片脚式歩行支援機（今仙技術研究所）  
・SAFETYオレンジ ー車いす転倒防止ブレーキ装置ー（フランスベッド） 〕

## ② 介護施設及び介護ロボットメーカーに対する実態調査

介護現場における介護ロボットに対する全般的な意識、期待を把握するとともに、特に苦慮している介護作業の内容を把握した。

また、介護ロボットメーカーに対しては、開発・実用化に向けた課題等の実態把握を行った。

## ③ 東北地方における介護機器等の実用化支援に資するモデル的な取組の実施

岩手・宮城・福島の介護実習・普及センターにおいて、介護施設の介護機器等を利用する側と研究開発する側、双方の理解を深める取り組みとして、介護機器等の体験型・意見交換会を開催した。

		介護施設等の 使 用 者	介護機器等の 開発者・研究者	合 計
岩手県長寿社会振興財団	H24. 2. 28	2 8 名	2 3 名	5 1 名
宮城県介護研修センター	H24. 3. 9	1 6 名	2 3 名	3 9 名
福島県男女共生センター	H24. 3. 8	4 3 名	2 6 名	6 9 名

## ○感覚器障害戦略研究事業の実施

聴覚障害を有する小児の日本語言語発達状況を評価し、その発達を促す方策を探ることを目的に、「聴覚障害児の療育等により言語能力等の発達を確保する手法の研究」を行った。

なお、当該研究は平成 23 年度までの 5 年間の研究事業であり、平成 23 年度は最終年度として、

- 1) 症例対照研究成果を学会発表（第 49 回日本特殊教育学会、第 56 回日本音声言語医学会、第 56 回日本聴覚医学会、第 21 回日本耳科学会）を行った。
- 2) 研究成果の一部をまとめた「聴覚障害児の日本語言語発達のための～ALADJIN のすすめ～」を刊行し、関係機関へ配布した。
- 3) 英文論文として **Annals of Otology, Rhinology and Laryngology(USA)** に計 5 編を投稿した。
- 4) 医師、言語聴覚士、ろう学校教員等を対象としたシンポジウムを東京、名古屋、福岡で開催し研究成果の周知を行った。
- 5) 研究事業の最終目的である聴覚障害児へ言語訓練・評価を実施した。（エントリー者数 72 名／研究実施施設 15 施設）

(2) 消費生活協同組合の助成金を受け、次の事業を行った。

○消費生活協同組合助成金事業

介護負担の大きい移乗場面や排泄介助場面等について、対策と福祉用具の使い方などを取りまとめた冊子（「腰を痛めない介護・看護」、「QOLを高める特殊尿器の有効活用」）を作成し関係団体等へ配布することにより、介助者の負担軽減に寄与する情報を提供した。

5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による第25回義肢装具士国家試験を次のとおり実施した。

- ① 願書受付 平成24年1月13日（金）～1月27日（金）
- ② 試験日 平成24年3月 5日（月）
- ③ 試験地 東京
- ④ 合格発表 平成24年3月28日（水）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
223人	179人	80.3%

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

従来、全国補聴器専門店認定協会が行っていた「認定補聴器専門店」の認定業務を平成19年4月からテクノエイド協会に移管し、補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の要件を充足している補聴器販売店を「認定補聴器専門店」と認定する業務を実施した。（平成23年度新規認定申請20店、更新認定申請89店）

移管時の認定店舗数	469店舗	平成19年4月1日現在
現在の認定店舗数	570店舗	平成24年3月31日現在

## 7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、リフトリーダー養成研修テキスト、可搬型階段昇降機安全指導員講習テキスト、福祉用具プランナーテキスト、福祉用具支援論、自助具ハンドブック等の販売を行った。

書 籍 名	販売部数
福祉用具プランナーテキスト	488
可搬型階段昇降機講習テキスト	204
リフトリーダー養成テキスト	167
福祉用具支援論	285
自助具ハンドブック	185
計	1,329

## 8. その他の事業

### (1) 全国介護実習・普及センター等関係機関連絡会議の開催

高齢化社会における介護知識・技術及び福祉用具の普及のための地域の拠点として重要な役割を担う介護実習・普及センター等の運営に携わる関係者により、事業推進のための研究討議を行うことを目的として、介護実習・普及センター等関係機関連絡会議を開催した。

- ① 開催期間 平成23年11月17日（木）～18日（金）
- ② 開催地 北九州市
- ③ 参加者 83名
- ④ 内 容 分科会1「災害と福祉用具について」  
分科会2「福祉用具展示場の運営及び相談事業について」  
分科会3「研修事業について」  
分科会連動企画シンポジウム  
「これからの福祉用具に関する支援の在り方」

## (2) 啓発誌の発行

次の啓発誌を作成し、都道府県、関係機関等に配布した。

「アシスティブ・プロダクツ」(年2回)

Vol	主 要 目 次
Vol5(秋号)	・大橋新理事長に抱負を聞いた ・福祉用具従事者養成の新たな構図 ・”福祉用具プランナー管理指導者”資格取得を目指す大学院修士課程の設置 ・義肢装具学士課程における福祉用具教育 他
Vol6(春号)	・福祉用具サービス計画の実施について ・個別援助計画(福祉用具貸与・販売計画)への期待 ・福祉用具プランナーと個別援助計画 ・義務付け以前から個別援助計画を行っていた理由とは 他

## (3) 広報活動

- ① 福祉用具の普及促進のためのパンフレット、パネル等を作成し、掲示又は配布した。
- ② 機器展等への出展
  - 第38回 国際福祉機器展 (期間 H23. 10. 5~10. 7) 東京ビッグサイト  
出展社ワークショップ講演(東島弘子氏、田中 繁氏)

## (4) 福祉用具の規格化に関する事業

### ○ I S O (国際標準化機構)に関する国内審議団体としての事業

ISO/TC173(リハビリテーション機器システムに係る専門委員会)/SC2(用語と分類に係る分科委員会)国内委員会の事務局として業務を行い、ISO/FDIS9999(最終国際規格原案)投票、NP(新業務項目提案)投票及び委員等をSC2/WG11(用具と分類に係る作業グループ)国際会議(東京)に派遣し国際規格改定に向けた積極的な審議、提案を行った。

#### ISO/TC173/SC2/WG11国際会議及びISO/TC173/SC2国際会議の開催

期 間：平成23年10月11日～13日

場 所：(公財)テクノイド協会・会議室(東京都新宿区)

参加国：アメリカ、フィンランド、フランス、オランダ、スウェーデン、韓国、日本

## ○ I S O（国際標準化機構）に関する国際幹事としての事業

平成23年10月4日付で日本工業調査会より国際幹事引受けの承認を受け、ISO/TC173（リハビリテーション機器システムに係る専門委員会）/SC2（用語と分類に係る分科委員会）の国際幹事としての業務を行った。

（国際幹事には国立障害者リハビリテーションセンター研究所 中山 剛室長が就任）

## ○ J I S（日本工業規格）の原案作成団体としての事業

### （5）海外調査の企画支援

テクノエイド協会のツアー企画により、ヨーロッパ先進国における福祉用具開発・普及の状況、地域ケアシステム等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・訪問国 スウェーデン、ドイツ
- ・期 間 平成23年9月22日（木）～29日（木）（8日間）
- ・参加者 54名（視察コース：32名、展示会コース22名）

### （6）関係団体の行事等に対する後援、協賛（申請順）

- 1 「そろそろ親のこと・・・オヤノコト.エキスポ 2011」後援 H23年4月11日～7月17日  
（主催：オヤノコト.エキスポ開催委員会）
- 2 「福祉機器コンテスト 2011」後援 H23年5月～11月  
（主催：日本福祉用具リハビリテーション工学会）
- 3 「第13回西日本国際福祉機器展」協賛 H23年11月18日～20日  
（主催：西日本国際福祉機器展実行委員会）
- 4 「ヨコハマヒューマンテクノランド 2011」後援 H23年7月22日～23日  
（主催：横浜市リハビリテーション事業団）
- 5 「第34回車いすSIG講習会 in 神戸」協賛 H23年8月22日～23日  
（主催：日本リハビリテーション工学協会）
- 6 「HOSPEX JAPAN2011」協賛 H23年11月9日～11日  
（主催：日本医療福祉設備協会 日本能率協会）
- 7 「第26回リハエカンファレンス」後援 H23年8月24日～26日  
（主催：日本リハビリテーション工学協会）
- 8 「サイトワールド 2011」後援 H23年11月1日～3日  
（主催：日本盲人福祉委員会）

- 9 「第2回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」後援 H23年9月15日～19日  
(主催:日本車いすシーティング協会)
- 10 「第15回国際福祉健康産業展」協賛 H24年5月25日～27日  
(主催:名古屋国際見本市委員会)
- 11 「第3回「介護の日」フェスティバル in とちぎ」後援 H23年11月11日～12日  
(主催:栃木県老人福祉施設協議会)
- 12 「高齢者期とバリアフリー住環境のあり方と人材育成」後援 H23年10月6日  
(主催:福祉住環境人材開発センター)
- 13 「第25回日赤振興会講習会」後援 H23年11月25日  
(主催:日赤振興会)
- 14 「第4回補装具制作セミナー」後援 H23年11月19日～H24年2月19日  
(主催:日本義肢協会)
- 15 「福祉用具プランナー連絡会10周年記念シンポジウム」後援 H23年10月1日  
(主催:福祉用具プランナー連絡会)
- 16 「第10回車いすシーティング基礎講習会」後援 H23年11月19日～23日  
(主催:日本車いすシーティング協会)
- 17 「第35回車いすSIG講習会 in 高知」協賛 H24年1月28日～29日  
(主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 18 「バリアフリー2012」協賛 H24年4月19日～21日  
(主催:大阪府社会福祉協議会)
- 19 「平成23年度高齢者施設職員研修会」後援 H24年2月10日  
(主催:神奈川聴覚障害者総合福祉協会)
- 20 「視聴覚福祉機器展」後援 H24年4月15日  
(主催:日本網膜色素変性症協会)
- 21 「国際モダンホスピタルショウ2012」協賛 H24年7月18日～20日  
(主催:日本病院会・日本経営協会)
- 22 「世界網膜の日 in 岡山」後援 H24年9月30日  
(主催:日本網膜色素変性症協会)
- 23 「353回講習会「技術で攻める医工連携-アプリケーションで攻める!」、354回講習会「技術で攻める医工連携-加工技術で攻める!」」協賛 H24年5月25日～29日  
(主催:公益社団法人 精密工学会)
- 24 「HEALTH&FITNESS JAPAN 2012」協賛 H24年6月19日～21日  
(主催:ヘルス&フィットネスジャパン実行委員会)
- 25 「平成24年度 福祉用具選定士認定研修会」後援 H24年4月11日～13日  
(主催:日本福祉用具供給協会)

- 26「日赤振興会 第26回講習会「地域包括支援システムの将来」」後援 H24年5月11日  
(主催:株式会社 日赤振興会)
- 27 「補聴器啓発啓蒙イベント「補聴器を正しく知ってもらうために」」後援 H24年6月10日  
(主催:一般社団法人 日本補聴器販売店協会 新潟県支部)
- 28 「車いす・シーティング製作技能養成コース」後援 H24年7月～12月  
(主催:財団法人 啓成会)



## Ⅱ. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回次	主な議題	出席等
平成23年6月24日	第1回理事会 (特例民法法人)	①平成22年度事業報告及び決算	決議に必要な出席理事の数6名(出席7名、欠席4名、監事出席1名)
平成23年6月24日	第1回評議員会 (特例民法法人)	①平成22年度事業報告及び決算	決議に必要な出席評議員の数13名(出席24名、欠席1名、理事出席7名)
平成23年7月5日	第1回理事会 (書面)	①第1回評議員会の開催	議題について、理事11名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成23年7月12日	第1回評議員会	①理事の補充選任(理事補充選任に係る基本方針、役員候補者選考委員会の設置及び選考委員選任の件) ②役員等の報酬等に関する規程の制定	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席3名、理事出席2名)
平成23年7月29日	第2回評議員会	①理事の補充選任 ②役員等の報酬等に関する規程等の改正	決議に必要な出席評議員の数8名(出席12名、欠席3名、理事出席2名)
平成23年7月29日	第2回理事会	①理事長及び常務理事選任 ②諸規程の制定	決議に必要な出席理事の数6名(出席9名、欠席2名、監事出席1名)
平成23年9月6日	第3回理事会 (書面)	①第3回評議員会の開催	議題について、理事11名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成23年9月22日	第4回理事会	①平成23年度決算(特例民法法人) ②基本財産の指定 ③平成23年度予算(公益財団法人移行後) ④賛助会員規程の制定	決議に必要な出席理事の数6名(出席8名、欠席3名、監事出席2名)

平成23年9月22日	第3回評議員会	①平成23年度決算(特例民法法人) ②基本財産の指定 ③平成23年度予算 (公益財団法人移行後) ④賛助会員規程の制定	決議に必要な出席評議員の数8名(出席8名、欠席7名、理事出席8名)
平成24年2月10日	第5回理事会 (書 面)	①第4回評議員会の開催	議題について、理事11名全員の書面による同意及び監事2名の書面により異議がないことの意味表示を得た
平成24年2月29日	第6回理事会	①平成23年度補正予算 ②平成24年度事業計画及び予算 ③諸規程の改正等	決議に必要な出席理事の数6名(出席9名、欠席2名、監事出席1名、理事出席10名)
平成24年2月29日	第4回評議員会	①平成23年度補正予算 ②平成24年度事業計画及び予算 ③賛助会員規程の改正	決議に必要な出席評議員の数8名(出席10名、欠席5名、監事出席1名、理事出席9名)

### Ⅲ. 理事の異動

#### 1. 平成23年7月29日 第2回評議員会

##### (1) 理事の辞任・選任

氏 名	摘 要	所 属 等
小 嶋 弘 伸	辞 任	(公財) テクノエイド協会 理事長
一 瀬 正 志		(公財) テクノエイド協会 常務理事
多 田 宏		(社) シルバーサービス振興会 理事長
伊 藤 勇 一		前 全国身体障害者施設協議会 会長
井 上 清 恆		(一社) 日本補聴器工業会 副理事長
大 橋 謙 策	新 任	前 日本社会事業大学 学長
本 村 光 節		(公財) テクノエイド協会 事務局長
小 林 光 俊		(社) 日本介護福祉士養成施設協会 会長
日 野 博 愛		全国身体障害者施設協議会 会長
赤 生 秀 一		(一社) 日本補聴器工業会 理事長

#### 2. 平成23年7月29日 第2回理事会

##### (1) 理事長・常務理事の選任

役 職	氏 名	摘 要	備 考
理 事 長	大 橋 謙 策	新 任	
常務理事	本 村 光 節	新 任	

## IV. 賛助会員の現況

### 1. 会員の構成（平成24年3月末現在）

法人会員：58団体（78口）      個人会員：0名（0口）

#### 【内 訳】

属 性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	43	74%
福祉用具供給事業者	3	5%
関係団体	4	7%
その他の企業	8	14%
計	58	100%

## V. 委員会等の開催状況

7月1日	公益財団法人移行登記 認定補聴器技能者に対する講習
7月11日	義肢装具士国家試験 方針決定・出題依頼会議
7月12日	第1回評議員会
7月13日	ISO/SC2（用語と分類）打合せ
7月14日	感覚器障害戦略研究 聴覚分野 介入研究施設モニタリング
7月15日	認定補聴器専門店書類審査
7月21日	感覚器障害戦略研究 聴覚分野 介入研究施設モニタリング
7月22日	アシスティブ・プロダクツ編集会議 （仮称）福祉用具プランナー管理指導者会議
7月26日	可搬型階段昇降機安全推進連絡会
7月28日	認定補聴器技能者に対する講習（九州ブロック開催） 福祉用具プランナー研修（新潟医療福祉大）
7月29日	第2回評議員会 第2会理事会
8月2日	感覚器障害戦略研究 聴覚分野 研究シンポジウム
8月3日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査研究事業 第1回検討委員会 補聴器協議会
8月4日	認定補聴器技能者に対する講習（関東ブロック） ISO国際会議 日本開催打合せ
8月8日	感覚器障害戦略研究打合せ
8月9日	大橋理事長所管事項説明
8月13日	感覚器障害戦略研究打合せ（京都・全国手話研修センター）
8月24日	認定補聴器技能者に対する講習（北海道ブロック） リオン、フランスベッド挨拶回り 大橋理事長アシスティブ・プロダクツインタビュー
8月26日	感覚器障害戦略研究打合せ
8月29日	認定補聴器専門店 実地調査員打合会
9月1日	会計士監査
9月7日	監事監査 感覚器障害戦略研究打合せ
9月12日	福祉用具ヒヤリ・ハット事例等ヒアリング調査
9月13日	可搬型階段昇降機安全推進連絡会
9月14日	補聴器技能者試験部会 問題選定
9月16日	第2回基準部会
9月20日	義肢装具士国家試験 問題選定会議 ISO国際会議準備打合せ
9月21日	認定補聴器技能者に対する講習（中部ブロック） 福祉用具臨床的評価事業 評価実施機関事務打合せ
9月22日	REHACARE2011（独デュッセルドルフ）～29日 可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（大阪市介実） 第4回理事会・第3回評議員会

9月26日	福祉用具シリーズ「特殊尿器編」作成のためのヒアリング
9月27日	福祉用具シリーズ「特殊尿器編」作成のためのヒアリング
9月28日	補聴器技能者試験部会 問題校正
9月29日	福祉用具シリーズ「特殊尿器編」作成のためのヒアリング
9月30日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査研究事業 福祉用具シリーズ編集委員会
10月3日	認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程の集合講習（TOC有明）～7日（金）
10月4日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習
10月11日	ISO/SC2国際会議～13日
10月13日	可搬型階段昇降機安全指導員基礎講習（大阪市社会福祉研修・情報センター）
10月17日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月19日	認定補聴器技能者に対する講習（第2回中央）
10月24日	認定補聴器技能者 認定試験書類審査 福祉用具有識者会議
10月26日	福祉用具シリーズ「特殊尿器編」打合せ
10月27日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査研究事業 作業部会
10月28日	福祉用具シリーズ編集委員会
10月29日	感覚器障害戦略研究 聴覚分野 研究シンポジウム
11月1日	第2回 福祉用具臨床的評価事業 評価実施機関事務打合せ
11月8日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月11日	認定補聴器技能者試験
11月15日	認定補聴器技能者 認定試験記述式採点① 福祉用具シリーズ「特殊尿器編」編集打合せ
11月17日	介護実習・普及センター全国会議（北九州）～18日
11月18日	認定補聴器技能者 認定試験記述式採点
11月21日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 委員会事前打合せ
11月22日	義肢装具士国家試験 問題校正会議 感覚器障害戦略研究 打合せ 可搬型階段昇降機安全推進連絡会幹事会
11月28日	補聴器・適正供給システム構築プロジェクト
12月5日	パラマウントベッド(株) 理事長へ取材 認定補聴器技能者 第Ⅱ期養成課程の集合講習（TOC有明）～9日（金）
12月9日	リフトリーダー養成研修（静岡）～10日
12月13日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業打合せ（総合南東北病院・岩沼市）
12月14日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業打合せ
12月16日	補聴器技能者試験部会・補聴器協議会
12月20日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 モデル事業打合せ
12月21日	介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
12月22日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査 第3回検討委員会
12月26日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 厚労省打合せ（振興課）
12月27日	義肢装具士国家試験 最終校正会議 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業打合せ

1月11日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業打合せ
1月12日	感覚器障害戦略研究打合せ
1月16日	認定補聴器技能者 第Ⅰ期養成課程のスクーリング（TOC有明）～17日（火） 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第1回検討委員会・評価部会
1月18日	ISO/TC173/SC2国内委員会
1月20日	「補聴器適正供給システムの構築プロジェクト」第2回会合
1月24日	福祉用具情報誌「アシスティブ・プロダクツ」編集会議（会）
1月26日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査 解説検討WG
1月27日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査 第2回作業部会
2月1日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第2回評価部会 認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程の実技実習（TOC有明）～2日
2月3日	可搬型階段昇降機安全指導員講習 基礎講習
2月7日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第3回評価部会【1日目】 全国介護実習・普及センター等連絡会議 事務打合せ
2月8日	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第3回評価部会【2日目】
2月10日	認定補聴器専門店審査部会
2月13日	福祉用具ニーズ情報システムに関するヒアリング調査
2月15日	「アシスティブ・プロダクツ」取材（大阪）
2月16日	感覚器障害戦略研究 成果報告（全難聴、中央ろう学校）
2月20日	福祉用具有識者会議 体験型・意見交換会 事前打合
2月21日	可搬型階段昇降機安全推進連絡会（大阪） 「福祉用具の日」推進協議会
2月22日	補聴器協議会 福祉用具臨床的評価事業 第3回基準部会
2月23日	感覚器障害戦略研究 成果報告
2月28日	認定補聴器技能者 第Ⅲ期養成課程の実技実習（TOC有明）～29日 良質な福祉用具・介護ロボットの実用化を推進するための体験型・意見交換会（岩手県）企画部
2月29日	理事会・評議員会（会）15:00～16:30
3月2日	感覚器障害戦略研究 戦略研究企画・調査専門検討会モニタリング
3月5日	義肢装具士国家試験
3月8日	良質な福祉用具・介護ロボットの実用化を推進するための体験型・意見交換会（福島県）企画部
3月9日	良質な福祉用具・介護ロボットの実用化を推進するための体験型・意見交換会（宮城県）企画部
3月11日	感覚器障害戦略研究 研究成果報告会
3月12日	感覚器障害戦略研究 運営委員会
3月13日	義肢装具士国家試験 合否案決定会議
3月16日	福祉用具の安全な利用を推進するための調査 第4回検討委員会
3月19日	「補聴器適正供給システムの構築プロジェクト」第3回会合
3月21日	会計検査院 H18～22年度国庫・老健事業検査
3月22日	福祉用具プランナー管理指導者打合せ（国際医療福祉大学） 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 第2回検討委員会

3月23日	福祉用具臨床的評価事業 第2回認証委員会
3月28日	義肢装具士国家試験 合格発表
3月29日	福祉用具プランナー管理指導者打合せ



平成23年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。

平成24年6月

公益財団法人テクノエイド協会